

母子保健計画策定に向けた市民意識調査結果速報（一部抜粋）

1. 調査の目的

本市では、「第二期かごしま市すこやか子ども元気プラン」を「母子保健計画」としても位置付けており、この次期計画となる「かごしま市子ども・子育て支援事業計画」策定の基礎資料とするため市民意識調査を行う。

2. 調査対象

- ① 市内の小中高校の児童・生徒とその保護者
- ② 慢性疾患児とその保護者
- ③ 1歳6か月児及び3歳児の保護者

3. 調査期間

- ① 平成26年6月～7月14日
- ② 平成26年7月～8月8日（実施中）
- ③ 平成26年7月1日～28日（集計中）

4. 集計結果

①のみ集計終了

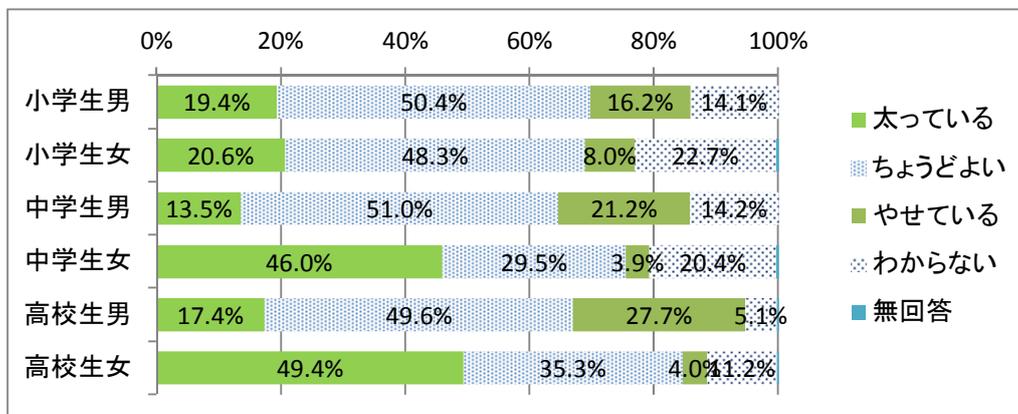
(1) 回収結果

	配布数	回答数	回答率
小学6年生	617人	570人	92.4%
中学3年生	672人	573人	85.3%
高校3年生	1,119人	1,062人	94.9%
保護者	2,408人	1,670人	69.4%
計	4,816人	3,875人	80.5%

(2) 小学6年生・中学3年生・高校3年生（本人）アンケート集計結果

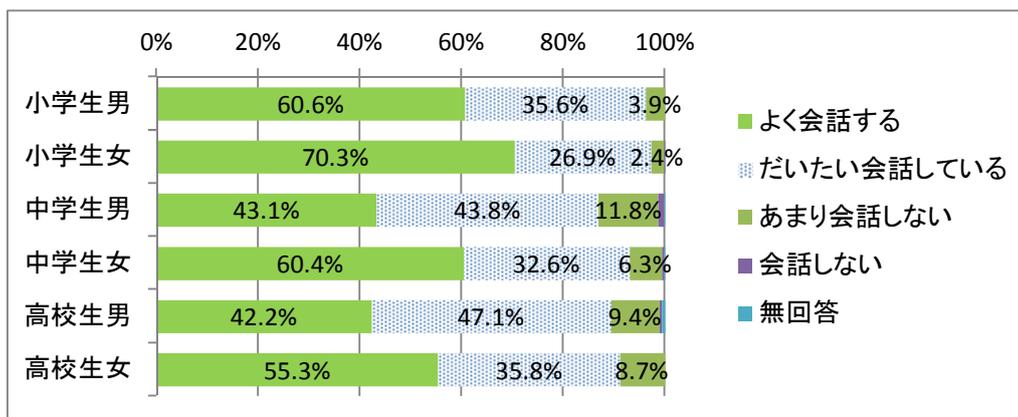
1. 自分の体型（スタイル）について、どう感じていますか

・男子は、自分が太っていると感じている割合は小中高を通じて約2割弱と一定している。女子は、中学生高校生になると5割弱の生徒が自分は太っていると感じている。



2. お父さんやお母さんと会話をしていますか

・男女とも父母と「よく会話する」生徒の割合は、年齢が高くなるにつれて減少する。また、全ての年代で、女子の方が会話する割合が高い。「よく会話する」「だいたい会話している」を合わせると、男女とも全ての年代で9割程度が父母と会話している。



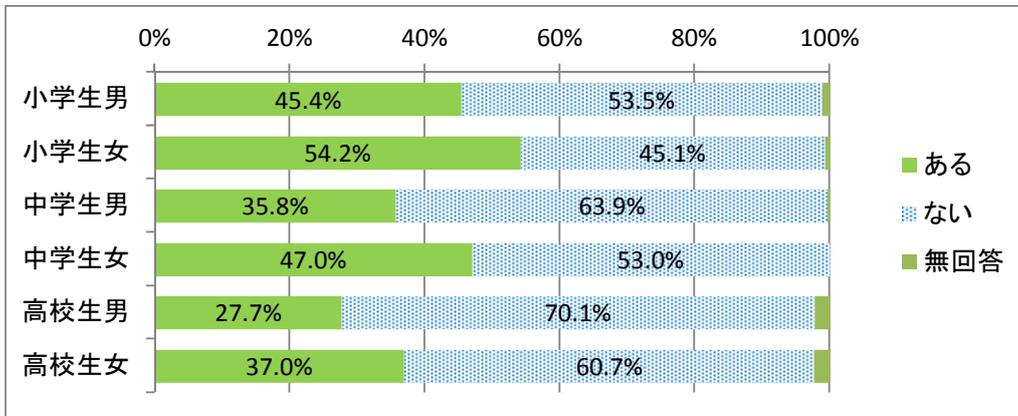
3. 自分の悩みを相談できる人がいますか

・全ての年代で男子より女子の方が悩みを相談できる人がいる割合が高い。中学生の男子は、悩みを相談できる人がいる割合が66.7%と最も低くなっている。



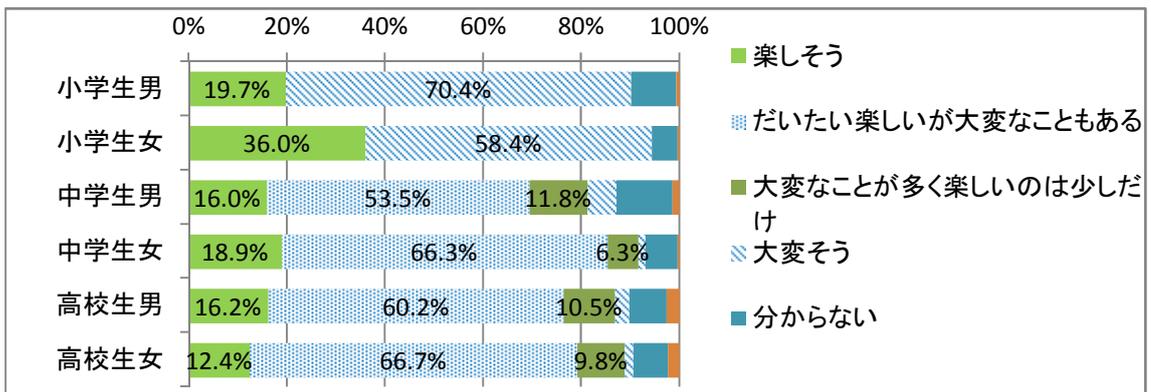
4. この1年間に赤ちゃんを抱いたことがありますか

・全ての年代で、男子より女子の方が赤ちゃんを抱いたことのある割合が高くなっている。また、年齢が高くなるに従って赤ちゃんを抱いたことのある割合が少なくなっていく。



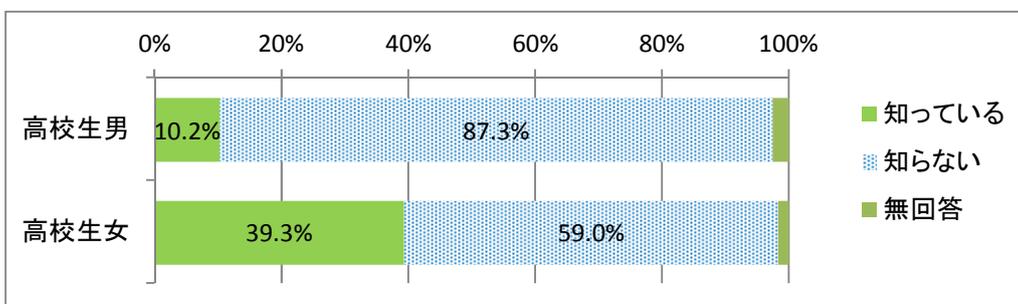
5. 赤ちゃんを育てることについてどう思いますか

・小学生には「楽しそう」「大変そう」「分らない」の3択で中高生には5択の質問を行った。小学生は、男子の約7割、女子の約6割が「大変そう」と回答している。中高生では、「楽しそう」と「だいたい楽しいが大変なこともある」を合わせると男女とも7割以上が「楽しそう」と回答している。



6. マタニティマークを知っていますか

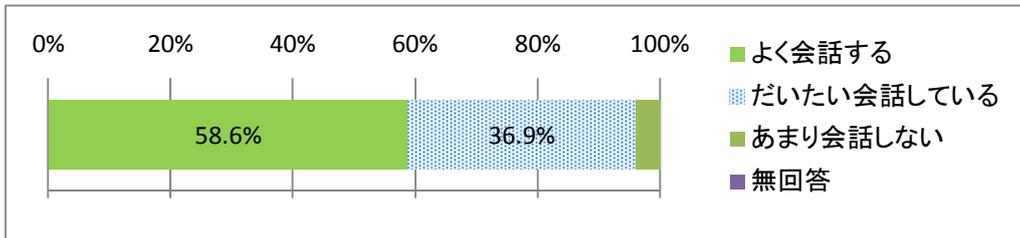
・マタニティマークを知っている割合は、高校生の男子が10.2%、女子が39.3%となっている。



(3) 小学6年生・中学3年生・高校3年生（保護者）アンケート集計結果

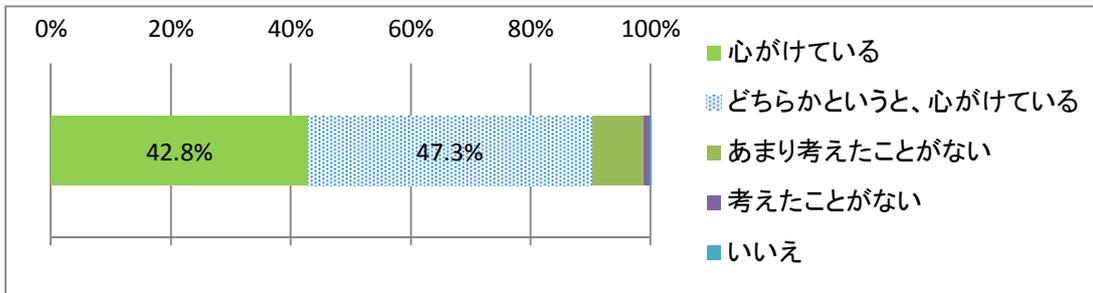
1. お子さんと会話していますか

・「よく会話する」「だいたい会話している」を合わせると、95.5%の保護者が子供と会話している。



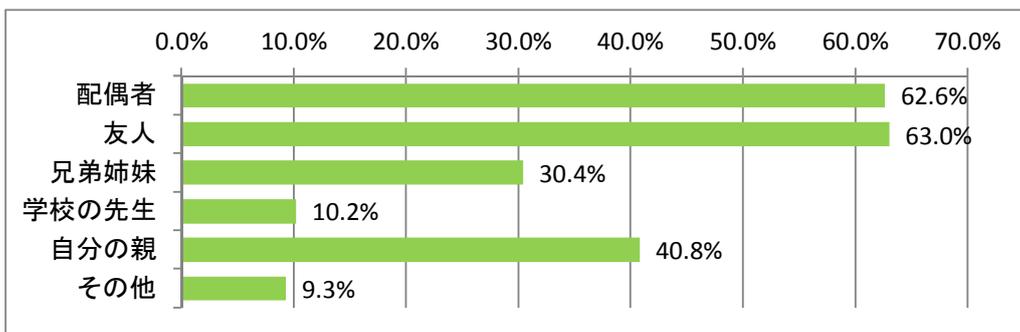
2. 子どもの良いところを、ほめることを心掛けていますか

・「心がけている」「どちらかという、心がけている」を合わせると、90.1%の保護者が子供をほめることを心掛けている。



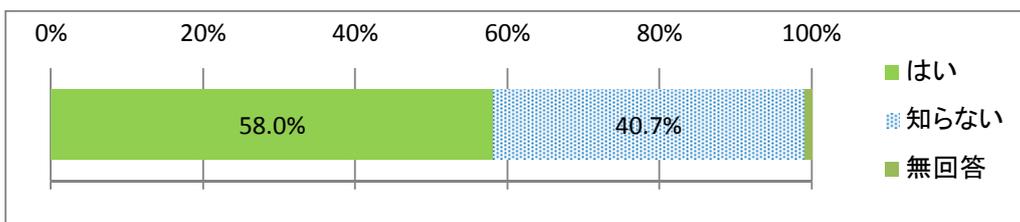
3. 悩みを相談できる人は誰ですか（複数回答）

・悩みを相談できる人は、「友人」が63.0%と最も高く、「配偶者」62.6%「自分の親」40.8%となっている。



4. マタニティマークを知っていますか

・マタニティマークを知っている割合は、58.0%と高校生と比べると高くなっているが、知らない人が40.7%となっている。



※集計値は平成26年7月31日現在の速報値。